福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月7日(木)

2 確認箇所

免震重要棟集中監視室

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の放出状況 (第14回)

4 確認結果の概要

本日(8月7日)本年度3回目(累計14回目)となる多核種除去設備等処理水(以下「ALPS処理水」という。)の放出が開始されたことから、免震重要棟集中監視室において、放出時の監視・制御装置の操作状況を確認した。【前回確認日:令和7年7月14日(第13回放出)】

放出対象: ALPS処理水(測定・確認用サンプルタンクA群)

予定放出量:約7,800㎡

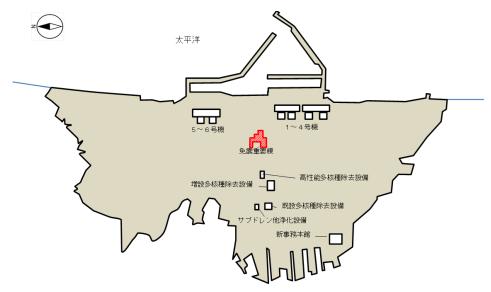
予定期間:令和7年8月7日(木)~同年8月25日(月)

<免震重要棟集中監視室における操作状況>

- ・操作指揮者の指示のもと、操作手順書に従い二人一組の操作員が、復唱及 び指差呼称による確認をしながら監視・制御装置の操作を進めていた。 (写真1)
- ・ALPS処理水のトリチウム濃度の分析結果を監視・制御装置に入力した後、入力値が正しいことを複数人で確認していた。併せて、海水によるALPS処理水の希釈倍率が約730倍であり、希釈倍率の基準である200倍を超えて希釈されていることが確認された。
- ・系統のライン構成及び現場における弁状態の確認終了後、「ALPS処理 水移送許可キースイッチ」がONにされ、放出が開始された。

なお、当該キースイッチは、誤操作防止のためプラ製のカバーで覆われており、弁状態が規定どおりであることの確認を受けた後、許可者から指示を受けてからキーのON操作が行われた。(写真2)

・ALPS処理水放出に当たり、漏えい検出器の作動やその他の警報発生は なかった。



(図1)福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 免震重要棟集中監視室にお ける操作状況



(写真2) 測定・確認用サンプルタン クA群移送工程開始の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。